

## 『積雪の構造と変質に関するワークショップ』

名称：『積雪の構造と変質に関するワークショップ』

主催： 防災科学技術研究所

共催： 日本雪氷学会北信越支部

日時： 2010年3月19日(金) 9:30-17:30

場所： パストラル長岡 5F 未広の間

(新潟県長岡市今朝白2丁目7番25号)

<http://www.pastral-n.com/>

趣旨： 積雪に関する観測や実験, 理論を研究している研究者間の情報交換を通じ, 積雪の構造や積雪中の水の移動の研究, またそれらを記述するモデル等に関して, 研究の現状と今後の推進すべき方向について議論する。

### ワークショップ

3月19日 9:00 – 17:30

9:00～ 受け付け開始

### プログラム

9:40-10:10

荒川 逸人 (野外科学株式会社)

「積雪の通気度に関する研究」

10:10-10:40

尾関 俊浩 (北海道教育大学)

「雪氷のNMRイメージング – 積雪内の水の可視化 –」

10:40-11:00

休憩

11:00-11:30

渡辺 晋生 (三重大学)

「土壌の分野における不飽和透水係数のモデル化に関する研究」

11:30-12:00

山口 悟 (防災科学技術研究所)

「積雪内の水の移動に関する研究」

12:00-13:30

昼休み

13:30-14:00

青木 輝夫 (気象庁気象研究所)

「気候モデリングのための積雪変態・アルベドモデル」

14:00-14:30

兒玉 裕二 (北海道大学)

「既存積雪モデルの比較」

14:30-14:50

休憩

14:50-15:30

Michael Lehning (Institute for Snow and Avalanche Research,  
Swiss)

「Progress in measuring and modeling Alpine snow dynamics at  
SLF Davos」

15:30-16:10

Edward E. Adams (Montana State University)

「Development and importance of near surface snow  
microstructure」

16:10-16:30

休憩

16:30-17:30

佐藤篤司 (防災科学技術研究所)

「雪粒子から雪害さらに地球環境研究を試みて」